

No.	010	—	4004	事務事業名	健康増進計画推進事業							公的関与	4
PLAN	課名	健康推進課		係名	地域保健係		電話番号	089-964-4407		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	平成 26 年度 ~		令和6年度	
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進			主要施策	1 地域保健・地域医療体制の充実			
	事業の目的	東温市健康増進計画(第2次)を推進することで市民の健康増進に寄与するため。					根拠法令等	健康増進法					
	事業の手段	市民の健康に関する課題などを協議し、計画推進のための取組を整理・推進するための会議を開催します。					掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標		
		健康づくり推進協議会の開催回数		計画の推進状況について協議する			回	目標	5	6	6	6	
								実績	5	6			
								目標					
								実績					
						目標							
DO	活動内容	① 健康づくり推進協議会の開催				④							
		② 母子保健推進部会の開催				⑤							
		③ 老成人保健推進部会の開催											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費			
	直接事業費			令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考						
		国・県支出金		0千円	0千円	0千円	愛媛大学の受託研究である健康づくり政策への提言は令和元年度で終了しました。						
		地方債		0千円	0千円	0千円							
		その他特定財源		0千円	0千円	0千円							
		一般財源		285千円	220千円	232千円							
	計(A)		285千円	220千円	232千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.136人	849千円	0.200人	1,249千円	0.200人	1,241千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		1,134千円		1,469千円		1,473千円							
一次評価者	地域保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	国の政策と市の現状や課題をすり合わせて、計画を推進するために市民他関係団体との連携や意識統一を図るために必要です。												
有効性	計画推進期間中に事業や取組の振り返りをしながら、課題や取組の方向性を調整しているため、有効に機能していると考えています。												
達成度	母子保健推進部会、老成人保健推進部会それぞれにテーマを設定して会を開催し、健康づくり推進協議会で意見を全体の意見を集約できています。												
効率性	協議の内容によって、部会を分けずに実施するなど工夫の余地があります。												
当面の課題	令和6年度の最終評価に向けて、市の取組の整理と並行して国、県の計画見直し状況の把握と健康増進計画に関連するデータヘルス計画や介護関連計画の策定状況の把握や方向性の整理が必要です。												
改計画	各種保健事業と計画の取組状況を整理しながら、国や県の動向の情報収集に努めます。また、市の関連計画に関する情報共有を進めます。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	食育推進計画とともに市の健康づくりの方向性を示した主要計画で、地域課題の把握、分析、対策の策定、事業推進、検証等を効率よく、適正に行う必要があります。これまでも、医師会や歯科医師会、愛媛大学、県、関係団体等の協力を得ながら事業を進めてきましたが、今後とも関係機関との連携を強化するとともに、ビックデータ等の活用のノウハウを蓄積し、課題の把握、分析や施策展開に活かしていく必要があります。												

No.	010	—	4011	事務事業名	骨髄バンクドナー支援事業				公的関与	9			
PLAN	課名	健康推進課		係名	地域保健係		電話番号	089-964-4407		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	平成 26 年度 ~		期間設定なし	
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	1 地域保健・地域医療体制の充実				
	事業の目的	骨髄等の移植の推進及び骨髄等提供者(ドナー)登録者の増加を図るため。					根拠法令等						
	事業の手段	骨髄等提供者(ドナー)に対して助成金を交付します。					掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標		
				指標設定になじまない				目標					
								実績					
								目標					
								実績					
						目標							
DO	活動内容	①	10月の骨髄バンク推進月間に広報記事掲載			④							
		②	市ホームページでの事業周知			⑤							
		③											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生費			費			
	直接事業費			令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考						
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円	平成26年度から事業を開始し、平成30年度に1件実績があります。						
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円							
		一般財源		0 千円	0 千円	100 千円							
	計(A)		0 千円	0 千円	100 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.020 人	125 千円	0.020 人	125 千円	0.020 人	124 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		125 千円		125 千円		224 千円							
一次評価者	地域保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	骨髄等の移植の適合ドナーは9割見つかっているが、移植に至る患者は6割にとどまっているため、助成制度による支援が必要です。												
有効性	助成対象件数が少なく、施策の効果が高いとは言えないが、制度が整えられていることに意義がある事業です。												
達成度	助成の対象となる人に対して、助成を行っています。												
効率性	助成に対して県から1/2補助があります。また、ドナー登録の啓発は啓発月間に合わせて、広報掲載や資料提供されるポスターやパンフレットを使っているため、経費をかけずに啓発できています。												
当面の課題	愛媛県から市への1/2助成が1件上限75,000円であるため、他市町は上限14万円の助成制度としている場合があります。東温市は1件100,000円と規定しているものが適当か検討する必要があります。												
改 革 計 画	予算作成時に県内市町の状況を調査し、助成金額他の見直しを検討します。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	骨髄等提供者(ドナー)の登録は、白血病をはじめとする血液疾患のための「骨髄移植」を推進するために必要な事業で、平成26年度に事業を開始して以来、1件の実績があります。県からの助成金を上限まで活用し、市の補助金を引き上げるにより、登録者の増加を図ることを検討する必要があります。												